

スクール School ウオッチ

Vol.5

市内小学校を巡り、いけだっ子の“今”をレポート!

北豊島小学校 編

目標に向かってジャンプ! なわとびで体力づくり

なわとび集会となわとび大会は20年以上にわたって続く北豊島小学校の冬の定例行事です。なわとびで体力づくりに励む子どもたちをウォッチしてきました。

朝のなわとび集会!!



目標に向かって頑張った!

新城 慶将さん (6年)

全校なわとび大会「チームジャンプ」



みんなで協力して楽しくとべたよ。

「個人とび」もがんばったよ!



石川 菜々美さん (6年)

いろいろなとび方にチャレンジ!

寒風が吹き抜ける校庭で、白い息をはずませて元気いっぱいになわとびをする子どもたち。北豊島小学校では3学期に入ると「なわとび集会」が始まります。朝の10分間、自分で目標を決めて、あやとびや二重とびなどさまざまなとび方にチャレンジします。目標を達成したら「がんばりカード」にチェックしてもらい、次のとび方を練習していきます。

その練習の成果を全校児童で発表し合うのが「全校なわとび大会」です。高学年は1分間、低学年は30秒間とび続けるチャレンジを5回する「個人とび」、グループに分かれて大なわをとぶ回数を競う「チームジャンプ」のほか、4年生以上の児童がいろいろなとび方を発表する「チャレンジコーナー」では、4重とびに挑戦する児童もいます。子どもたちは「目標を達成してうれしかった」「みんなの前でとべて自信になった」と、体力づくりだけでなく、なわとびを通してさまざまなことを学んでいるようです。

今月の小学校 北豊島小学校

明治7(1874)年に開校し、在籍数は約470人。祖父や祖母が卒業生という児童も多く通っています。かつては校庭の真ん中にそびえる^{えのさ}「榎」が同校のシンボルでした。校舎脇に植えられた2代目の榎も、校舎の高さを越えるほど大きくなっています。



校庭の真ん中にあった初代の榎。

ジャンピングボード

なわとびの練習をするジャンピングボードは25年ほど前に設置され、先生や職員の方が補修しながら大切に使われ続けています。ジャンピングボードで難しいとび方を練習する高学年の姿を低学年の子どもたちが憧れのまなざしで見ていることもよくあるそうです。



▶次回は、神田小学校を紹介します。【問い合わせ先】学校教育推進課 ☎754・6293